

# そよかぜ

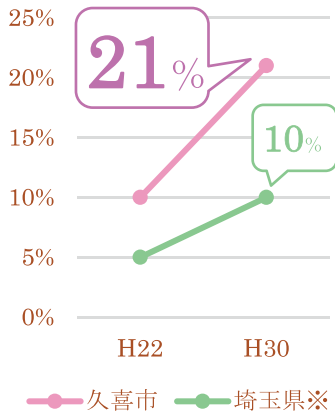
SOYOKAZE

10号記念号

## 久喜市の男女共同参画の10年

久喜市は、平成22年3月23日に合併し、同年9月30日には「久喜市男女共同参画を推進する条例」が制定されています。翌23年3月15日には「そよかぜ1号」が発行されました。久喜市は、男女が性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる社会を目指しています。

Q. 久喜市職員の管理職に占める女性の割合は？



(小数点以下四捨五入)

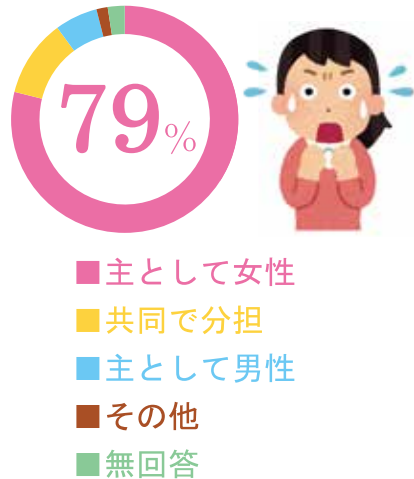
※埼玉県男女共同参画課「男女共同参画に関する年次報告」より抜粋

家族みんなで、家事、子育て、介護などを行い、ゆとりある生活を送ることができる社会



### 家庭では

Q. 家庭の食事の支度の担当は？



「平成28年度久喜市男女共同参画に関する市民意識調査」より抜粋

## みんなで目指そう！ 男女共同参画社会

### 職場では

仕事と家庭を両立する職場環境が整い、男女問わず能力を十分に発揮できる社会



### 地域では

性別や年齢にかかわらず、主体的に地域に参画し、子育てや介護などを地域全体で支えることができる社会



久喜市の10年間の「男女共同参画」という視点に立つと、大きな変化があれば、まだ残っている課題もあります。今回は、「増えてほしいけれどなかなか増えない人」として、「男性の育児休業取得者」と「女性の区長」に注目しました。経験者の生の声や、メッセージをお届けします。



第10号  
2020年3月発行



特別支援学校勤務 久喜市在住

くろす かずき  
**黒須 和樹**さん

育休中、子供のために木材でジャングルジムを手作りしました！



## 今しかできない子育てに重きを

東京都の特別支援学校で教員をやっています。元々、子供が好きで教員になりました。

育休を取ったのは3人目の子供の時で、上の子供たちの世話をする必要もあり、9ヶ月間取得しました。

今の職場環境は、臨時職員として待機している方がいて、私の育休取得時には代わりの職員を確保していただきました。周囲の職員の負担が増えないよう、配慮してくれたのはありがたかったです。

育休中の収入（育児休業給付金）は、私の場合、半年間は7割から8割、その後は6割程度

に減りましたが、貯金があったので、普通に生活できました。

収入が減少することに不安な男性はいると思いますが、育休制度についてよく調べていない方も多いのではないのでしょうか。

男性の、子育てに対する価値観はまだまだ低いと感じます。母親だけに任せて働き続けるのが当たり前という価値観ではなく、今しかできない子育ての時間にも重きを置くべきではないでしょうか。



## 育児休業、男性だって取れるんだよ

### 育児休業とは

子を養育する労働者が取得できる休業。原則、子が1歳になるまでに取得でき、休業中は、育児休業給付金の支給を受けることができる。

### 娘の日々の変化見られた

准看護師として、利用者の体調管理が主な業務です。5日に1回程度、夜勤もあります。

娘が生まれた後、育児休業を約4ヶ月半取得しました。また、育休取得前後は、夜勤を外してもらいました。

出産前は、職場の上司に「育休は取得しない」と伝えていましたが、出産後に状況が変わり、妻がサポートを必要としていたので取得しました。

育休を取得したことで、睡眠を十分に取れない辛さがよくわかりました。育休を取らなければ、育児の苦勞が実感できなかったと思います。また、娘の

日々の変化を見られたのも楽しかったです。

育休中は収入が減少するので、もっと給料への影響が少なければ、「育休を取ろう」という男性も増えていくのではないのでしょうか。

家庭の状況により、育休を急遽取得することになりましたが、育休申請から取得まで、1ヶ月かかりました。急に育休を取得したい場合もあると思うので、申請から取得までの期間が短縮

できれば、もっと育休が取りやすくなるのではないのでしょうか。



介護老人保健施設  
栗橋ナースィングホーム翔裕園  
**30代男性准看護師**

埼玉県の「プラチナ認定企業※」の認定を受けた、「栗橋ナースィングホーム翔裕園」の職員です。

※仕事と家庭の両立支援や、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業



久喜第103区長

ひらた しょうこ  
平田 昭子さん

区長の仕事は、家族の理解、協力が不可欠。夫はよい相談役です。



## 女性区長は相談しやすい

平成21年、前区長から、「なり手がいないので、区長を引き受けてもらえないか」という依頼がありました。

区長は年配の男性がほとんどで、50代前半の女性の自分に務まるか不安で悩みましたが、「地域のことは女性の方が関わりが深いので、奉仕の気持ちと、自分自身の成長のために頑張ってみよう」と決断しました。

区長の仕事は、全戸配布物の配布から、学校行事の参加まで、多岐にわたります。住民と市の橋渡し役として、相談や要望を受けることも多いです。

女性区長のメリットは、住民

が話しやすい・相談しやすいことではないでしょうか。女性は子育ての段階から地域に大きく関わっており、地域をわかっているからこそ、女性ならではの目線・気づきで提案ができると思います。

活動している中で、男性・女性を意識したことはなく、女性だからといって苦労している点はありません。ただ、もっと女性区長が増えてくれたら心強いです。

多くの女性に、発信できる場に出てきてほしいと願っています。



## 女性区長 3.49% もっと増やすには

### 久喜市の現状

区長は、住民から推薦を受け、地域と市の連絡調整を担っている。

市内の区長258人中、女性区長は9人（3.49%）。<平成31年4月1日時点>

## 男女どちらの力も必要

区長と自治会長を兼任しています。平成24年、区長だった夫が病気になったため、私が引き継ぎました。以前から事務局長として資料作成等を手伝っていましたし、保育所や市役所に30年間勤めた経験があったので、区長を引き受けることに抵抗はなかったです。

私はパソコンのWord・Excelで資料の編集ができるので、役員会の資料作成はほとんど私がやっています。独自の取り組みとしては、集積所の清掃当番名を入れたごみカレンダーを作成、配布するなど、自治意識の向上に努めています。

女性だからといって気負うこともなく、会議の場で発言しにくいということもありません。

地域活動には、男女どちらの力も必要です。体育祭等、力仕事が必要な場合は、男性の協力を得ながら助け合って進めています。区長代理は、男女1名ずつにお願いしています。

課題はたくさんあります。実際に地域の活動をしているのは女性が多く、男性は出たがらない人が多いです。また、若い方たちの参加も含め、後継者の育成が当面の課題です。



鷲宮第42区長

つねまつ かずこ  
恒松 和子さん

近所の方と月1回集まり、編み物をするのが楽しみです。



コラム

知っていますか? 「SOGI」と「LGBT」

**SOGI**とは、「Sexual Orientation (性的指向)」、「Gender Identity (性自認)」をまとめた言葉で、自分が誰を好きか、自分の性をどう思っているかという、すべての人に当てはまる概念です。

**LGBT**とは、「Lesbian レズビアン (女性同性愛者)」、「Gay ゲイ (男性同性愛者)」、「Bisexual バイセクシャル (両性愛者)」、「Transgender トランスジェンダー (心と体の性に違和感がある人)」のそれぞれの頭文字をまとめたもので、性的指向及び性自認に関する性的マイノリティ (少数者) の総称です。

性的マイノリティの人は、「本当のことを言えば嫌われてしまうのではないか」、「学校や職場でいじめられるかもしれない」という不安を抱えています。

一人ひとりが性の多様性を理解し、偏見や差別なく、支えあう社会を目指しましょう。

「LGBT」の詳細については、下記URL、又はQRコードより、久喜市ホームページ上でご覧になることができます。



[https://www.city.kuki.lg.jp/smph/shisei/jinken\\_danjo/danjo/lgbt.html](https://www.city.kuki.lg.jp/smph/shisei/jinken_danjo/danjo/lgbt.html)

女性の悩み (カウンセリング) 相談

「女性の悩み相談」では、お子さんやご家族、ご夫婦に関すること、配偶者等からの暴力に関すること、自分の生き方や人間関係等、女性の様々な悩みや心配事について相談可能です。相談の費用は無料です。また、相談に関する秘密は固く守ります。

**相談日程** 第1・第3金曜日 13時～17時  
面接相談もしくは電話相談

**相談会場** 久喜市役所 (本庁舎)

**相談時間** 1人50分

**対象** 市内在住・在勤・在学の女性

**相談員** 女性カウンセラー (臨床心理士)

**申込方法** 相談は予約制です。電話または窓口で人権推進課 (下記連絡先) までお申し込みください。

※相談日程・会場について、詳しくは人権推進課までお問い合わせいただくか、広報くきをご覧ください。



「女と男いきいきネットワーク久喜会員」を募集します!

私たちは久喜市内で活動する団体及び個人が、ゆるやかにつながり、互いに交流し、情報交換しながら、男女共同参画の推進に取り組んでいます。久喜市との共催で「男と女のつどい」や「女性議会」を開催したり、毎年2月に行われる「WithYou さいたまフェスティバル」での活動展示などを行っています。皆さんのご加入をお待ちしています。

申込み・問合せ

同団体会長 内海まで

電話/FAX

0480-21-8825



男と女のつどい ステージ発表

久喜市は、お互いを認め合える社会を築くため、「人間尊重・平和都市」を宣言しました

編集後記

「そよかぜ」は、市民ボランティアの編集員の方に企画・取材・編集していただいています。

今回の取材をとおして、住みよい社会の実現には関心をもつ姿勢と思いやる心が大切だと感じました。もちろん、最も重要なのは行動力です。(岡安 一雄)

人生の節目節目に出会うことの多くは、初めての体験となり不安を伴う。でも、改めて自分を信じることに感動するかもしれません。(佐藤 怜子)

働き方改革が叫ばれている昨今、男性育児休業が堂々と取れるようになり、とても喜ばしいです。次の10年は、介護休暇が気持ちよく取れる社会を目指したいですね。(菱沼 千恵子)

昨年発表された男女平等度で日本は153カ国中121位で過去最低のランキング。多様な女性が声を上げ、意思決定の場に立てる環境づくりを身近なところから。(加藤 孝)

男女共同参画。20年前に国が「基本法」を公布。10年前に久喜市が「推進する条例」を制定。10年後は「人が互いに理解尊重し、人を思いやれる社会」を目指そう!(杉原 範子)

そよかぜの編集員を募集します!

男女共同参画や情報紙づくりに関心のある皆さん、一緒に情報紙をつくってみませんか。詳しくは人権推進課までお問い合わせください。



男女共同参画情報紙「そよかぜ」のバックナンバーは、久喜市ホームページからご覧いただけます。

◆発行/久喜市総務部人権推進課

〒346-8501 久喜市下早見85-3 電話: 0480-22-1111 (内線2322・2325) FAX: 0480-22-3319  
メールアドレス: jinken@city.kuki.lg.jp この情報紙は 部作成し、1部あたりの単価は4.2円です。

